

# 人間と熊たちとの共存

## 可能にするのは私達一人ひとりの心掛け

ブラックベアの生息が盛んな地域内に位置するウイラスラー。渓谷の小道を散歩中、あるいは観察林でのハイキングの途中でブラックベアに出くわす可能性は十分あります。ブラックベアは3月中旬から11月にかけ活動します。つねに新しい食料源を探し求めて徘徊しているため、人間の居住地域に惹き付けられたり、あるいは通行人で賑わうエリアに突然入り込んでしまったりということはしばしばあります。

ウイラスラー滞在中、生息地域内にいる熊達との出会いは、とても貴重な旅の思い出となるに違いありません。しかし、熊達への理解そして気配りをどうぞ忘れないで下さい。「ベア・スマート」を合言葉に、ここに掲げるいくつかの簡単なガイドラインを守り、この愛らしい動物との出会いを安全で楽しいものとして下さい。

## 「ベア・スマート」とは？

さあさっそくスタートです。ベア・カントリーへの冒険に出発する前に、まず熊達のさまざまな行動についてなるべく多くのことを学んできましょう。熊の行動は決して予想不可能なものではありません。熊に出くわした時にはまずこのことを念頭において下さい。熊の姿勢や発声の仕方などを分析・理解することによって、危険な状況は容易に避けることができます。

決して熊に餌を与えないこと。ペアロックの設置されていないゴミ箱には間違ってもゴミを捨てないで下さい。熊の嗅覚はとても鋭く、遠く離れた所からでもパーベキューやピクニックのにおいを嗅ぎつけることができます。ベア・カントリーではつねに気を配り熊を意識するよう心掛けてください。

熊には十分なスペースを与えて、決して近寄らないようにして下さい。つねに気を配り、餌を与えたり、撫でたり、ツーショットで記念写真を撮ろうとしたりしないで下さい。写真はズームレンズ等を使って距離をおいて撮るようにして下さい。貴方の協力によって、熊と私達との調和のとれた共存が可能となります。

## どこに行けば安全にベア見学を楽しめるのか？

ウイラスラーに住むブラックベアのほとんどはウイラスラー／ブラックコム山中で食料を探し回りながら夏を過ごします。ゴンドラまたはスキー

リフトからのベア見学が最も安全といえるでしょう。またベア見学ツアーも定期的に行われています。

## どこまでが熊との安全な接近距離といえるのか？

私達人間と同じように熊達もそれぞれ自分のプライベートな領域を守ろうとします。その範囲は熊のおかれている状況や環境によって異なり、ほんの数メートルの範囲内をテリトリーとするとするものから何メートルも範囲のものまでとさまざまです。熊の活動区域内に侵入するということは、彼等に退去またはそのスペースの防御といった本能的な行動を強いらせることを意味します。

## 熊が人間を襲うのは一般的な行動なのか？

熊は基本的にとてもおとなしい動物で、自己抑制力が極めて発達しています。しかしその一方で忘れてはならないのは、熊の持つ強力なパワーによってたとえ人間でも大怪我を負ったり、死に至る可能性が十分あるということです。ただ驚くことにこのような悲惨なケースは滅多に起こりません。野性の熊は人間との接触を避けますが、人間を見慣れている熊は人間にたいしてとても寛容な態度を見せます。毎年人間と熊との交流が数えきれないほど起っています。出会いーそして怪我一つなく安全のうちに訪れる熊との別れ…

それでもごく稀に、熊との出会いが結果として人間側の怪我や死亡に至るケースはあります。20世紀以降、ブリティッシュコロロニア州では10人の人間が黒熊による被害にあつて大怪我を負ったり命を落としています。これらのアクシデントはMainland下部やSea to Sky回廊地帯では発生しておらず、そのほとんどが人里離れた、人間に不慣れな熊の生息する地域で起きています。

## 熊と人間の調和のとれた生活環境

生まれつきトラブルの元となる熊はいません－我々人間の無関心・不注意の末の産物なのです。熊が食料源としてゴミを漁り始めると、そこから問題が発生することがあります。ゴミは法律で定められている通り、全てペアロックつきのゴミ箱に必ず捨てるようにして下さい。ペアロック付きのゴミ箱はビレッジ、市営パーク内の至るところに設置されています。人間の食べ物やゴミを一度口にすると、熊は味をしめて簡単に手に入る食料を求め、繰り返し現われるようになります。

ここウイラスラーで私達は熊達との共存をあえて選びました。そして私達は熊達の活動の妨げにならない、熊と人間の互いの安全を確保できるコミュニケーション作りは可能だと信じています。貴方自身の役割を十分理解して、熊との調和のとれた生活環境保護にぜひご協力ください。



## 熊に出会ったら？

静止・状況判断

- 慌てない。どんなことがあっても熊には決して近づかない。

後退

- 熊の方を向きながら、ゆっくりと後ろにさがる。
- 決して走らない。（後を追われる可能性あり）
- 熊を驚かせるとような予測不可能な行動はとらない。

落ち着いて話す

- 熊に自分が人間だと認識させるように静かに話しながら、後ろにさがり続ける。

熊が近づいてきたら…

- 決して慌てない。
- しっかりとした声で話し、両腕や棒切れを頭上で振るようにして自分が熊よりも大きな存在だという印象を与える。
- それでも熊が退かない場合は、しっかりと地面に立ち自分の体を防御する用意をする。死んだふりはしない。しっかりとした建物や車を探し可能な限りそこに逃げ込む。熊が襲う仕草を見せることもある。もし黒熊が襲ってきたら、石や木の枝など武器になるものを見つけて反撃する。

道路上で熊に遭遇した場合は、写真を撮ろうとなど考えず車の中からは決して出ない。

## 安全なハイキングに関するアドバイス：

*熊との出会いは、大自然の中での経験をより一層豊かにするものです。熊の行動を理解し、私達一人ひとりが責任ある行動をとることによって、この素晴らしい動物の住む森林や山々を共有するスリルを楽しむことができます。*

- 常に注意を払う。熊との近距離での接触や熊を驚かせるような行動は避ける。
- 熊の活動があったか周りを調べてみる。糞・足跡・ひっくり返された石・かきむしられた腐った丸太・木に残されてまだ間もない爪痕・植物の根が掘られた跡・地面に落ちている木イチゴ・木の幹についた毛など。
- 大きな声で話したり、歌を歌ったりして人間が近くにいるということを熊に知らせる。木の棒で周囲を叩きながら歩くと、熊に人間の存在を知らせるとてもよい手段となる。

- 深いやぶの中・風上の方向・奔流する川辺・熊の食料源となっているような地域（イチゴの密集地など）を通る場合は特に注意を払う。視界が限られたり雑音の多いような場所では、熊との思わぬ接触がありえるので注意する。

- 動物の死骸のにおいがしたり、それらしい気配（カラスが上空を旋回している等）を感じたら直ちにその場所から離れる。
- 動物の死骸のにおいがしたり、それらしい気配（カラスが上空を旋回している等）を感じたら直ちにその場所から離れる。
- 常にグループで行動するのが一番安全である。深い藪などは避け、できるだけ明らかな道を通るようにする。
- マウンテンバイクに乗って必要以上のスピードを出していると、熊との突然の接触につながるので要注意。
- 子供からは決して目を離さない。犬には常に皮紐をつけコントロールする。犬は熊の存在を察知する上で役に立つと同時に、熊を逆に刺激し事態が悪化してしまう可能性もあるので要注意。
- 香水・整髪料などではできるだけ使用しない。

### ベアカントリリーでのキャンプ:

僻地でのキャンプでは、獣みちや奔流する河川などをさける。糞・足跡・地面を掘った跡・木に残された爪痕など熊の形跡が見られる場所ではキャンプを張らない。夜になったら必ず懐中電灯を使用する。

ゴミは生ゴミなども含め全て密封する。熊が見つけて掘り起こしたりすると、他のハイキング客やキャンプ客を危険にさらす可能性が十分あるので、決して地面に埋めて捨てたりしない。残飯やゴミを焼却する場合は、焼け残った分を必ず密封して処分する。

熊の好む匂いは避ける。テントの近くで料理はしない。料理をしていた時に着ていた衣類をそのまま着て寝ない。テントの中には、たとえ菓子類であっても食べ物を持ち込まない。匂いの強い香水は熊を惹き付ける可能性があるので極力使用を避ける。ベアロック付きの食料入れを使用する。クーラーやテントにはベアロックはついていない。公共のキャンプ地では、動物ロック付きの食料入れを貸し出してくれるので、それを使用する。もしロック付きの食料入れが手に入らない場合は、テントから100メートル以上離れた距離に食料を保存する。（2本の木の間に地上から4メートル上、木の幹から1メートル内の間隔をとりハンモック状にして吊す）

### 熊に関する知識：ブラックベア（黒熊）

毛色： 純粋な黒から茶褐色、金髪までさまざまだが、ほとんどは黒色で鼻の部分が茶色がかっている。胸の部分にしばしば白い斑点が見られる。

体高： 肩まで約90センチ  
 体長： 約1.5メートル  
 体重： 大人で50キロから270キロ以上。メスは一般的にオスよりも小さい。

### 熊の種類の見分けかた:

黒熊の特徴は、まっすぐのびた顔と細長い鼻、そして大きな鼻孔。足は平たく、短かいカーブ状の爪を持つ。黒熊は人間のいる場所や、開けたエリアに現われることがよくあるが、基本的には森林地帯を好んで生息する。

とても好奇心が旺盛で、高度な知性も兼ね備えている。鋭い嗅覚をもち、聴覚・視覚もよく発達している。パワーがあり、走るのも速い。泳ぎもうまく、素早く木に登ることもできる。

### 足跡:



黒熊は基本的に臆病な動物で、人間とその行動には極めて寛容です。しかし、万が一人間の安全を脅かしたり、人間の所有物を荒している熊がいる場合は、保護官サービスセンター（フリーダイヤル1-800-665-1388）まですぐお電話ください。

黒熊との共存についてご意見・ご質問等がございましたら、ワイスラーベア協会（電話：604-905-4209 / 電子メール：info@bearsmart.com）までぜひご連絡下さい。

### 「ベア・スマート」を忘れずに、どうぞ安全で楽しい旅行を。

人間と熊の安全を考える、ワイスラーベア協会ではさらなる発展をめざし寄付金を募っています。点線内を切り取って同封し、下記の住所までぜひお送りください。（ご記入はローマ字でお願いします）

寄付金: 15ドル 25ドル 50ドル その他 \_\_\_\_\_ドル

氏名: \_\_\_\_\_

住所: \_\_\_\_\_

郵便番号: \_\_\_\_\_ 電話番号: \_\_\_\_\_

宛先: Get Bear Smart Society  
 P.O. Box 502  
 Whistler, BC V0N 1B0 Canada

# ベア・スマート ワイスラー観光ガイド



www.bearsmart.com

提供: Get Bear Smart Society